

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東
 コード番号 9903 URL http://www.kanseki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 平成26年11月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	15,954	2.7	669	7.7	519	12.7	338	19.2
26年2月期第2四半期	15,537	△0.6	621	△19.3	460	△18.4	283	△13.6

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 372百万円(22.7%) 26年2月期第2四半期 303百万円(△6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	22.85	—
26年2月期第2四半期	19.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	27,036	5,536	20.5
26年2月期	25,830	5,193	20.1

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 5,536百万円 26年2月期 5,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	1.50	—	2.00	3.50
27年2月期	—	1.50			
27年2月期(予想)			—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,515	1.2	871	12.5	565	23.0	279	5.3	18.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	16,100,000株	26年2月期	16,100,000株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	1,297,263株	26年2月期	1,297,263株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	14,802,737株	26年2月期2Q	14,803,528株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年8月31日)におけるわが国経済は、政府による経済、金融政策の効果により、景気は緩やかな回復基調を見せております。しかしながら、個人消費は増税による影響で、消費者の購買意欲は鈍化しており、先行き景気上昇の勢いが弱まることが懸念されます。

このような経済状況の中、当社グループは、営業面において、天候不順による季節商品の売上に影響があったものの、消費税増税に伴う駆け込み需要により売上が伸びました。その後、増税による反動減の影響も想定した範囲内となり、売上が堅調に推移いたしました。経費面では、円安による燃料価格、仕入れコストの上昇などの経費増加要因が生じましたが、引き続き経費削減に向けた様々な取り組みを実施し利益の確保に努めました。

この結果、売上高は159億54百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は6億69百万円(前年同四半期比7.7%増)、経常利益は5億19百万円(前年同四半期比12.7%増)、四半期純利益は3億38百万円(前年同四半期比19.2%増)となり、前年同四半期と比較して、売上高、利益ともに上回り、増収増益となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔ホームセンター事業〕

ホームセンター事業につきましては、依然として増税による影響が残る中、7月中旬まで降雨量が例年より多く、季節商品が苦戦いたしました。梅雨明け後は天候にも恵まれ、季節商品の販売が回復し堅調に推移いたしました。また、店舗において、お客様への商品価値訴求として「仕入担当者のおすすめ」、「スタッフ・イチ押し」など、積極的な販売訴求を実施しました。店舗施策として、7月に小山店(栃木県小山市)において別館を改装増床し、新たに、切り花専門店「花工房すまいる」、屋内型エクステリアコーナー「ガーデン&エクステリア」、自転車専門店「ネオ・サイクリスタ」をオープンいたしました。

これらの結果、営業収益は96億38百万円(前年同四半期比1.1%増)、セグメント利益は3億74百万円(前年同四半期比1.8%増)となり、前年同四半期と比較して、増収増益となりました。

〔WILD-1事業〕

WILD-1事業につきましては、1号店の出店より数えて30周年を迎え、店頭およびオンラインストアでは、お客様への感謝をこめて30周年限定商品、記念商品の販売を実施しております。WILD-1事業全体では、天候不順による影響が懸念されましたが、昨年同様にキャンプ関連商品がファミリー層を中心に好調に推移いたしました。また、前年度新規出店した2店舗(イオンモールつくば店、デックス東京ビーチ店)は、認知度が高まり来店客数が増え、安定した売上を上げております。

これらの結果、営業収益は37億69百万円(前年同四半期比4.8%増)、セグメント利益は3億44百万円(前年同四半期比10.3%増)となり、営業収益、セグメント利益ともに前年同四半期を上回る結果で推移いたしました。

〔専門店事業〕

専門店事業につきましては、オフハウス店舗において、増税後売上高が低迷している貴金属、高級腕時計、ブランドバッグ等について、店舗個別の販売促進企画を強化したことにより、客数並びに客単価の改善がなされました。あわせて6月以降、家電品、ホビー、家具が好調に推移し、ほぼ計画通りに進展しております。業務スーパー店舗においては、依然として仕入商品の値上げや物流コスト上昇など厳しい環境ではありますが、各地のイベント、お祭り、運動会等における需要が好調に推移し、安定した売上げを確保するとともに、増税後、業務スーパーの特色である安くて安心な商品がお客様の支持を受け、営業収益、利益ともに好調に伸びております。

これらの結果、専門店事業における営業収益は27億38百万円(前年同四半期比5.4%増)、セグメント利益は1億21百万円(前年同四半期比5.7%増)となり、前年同四半期を超える営業成績であります。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、前期と比較して賃貸物件の期間満了により物件数が減少しておりますが、営業収益、セグメント利益は計画どおりに進捗しております。

店舗開発事業における営業収益は3億65百万円（前年同四半期比6.0%減）、セグメント利益は70百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、270億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億6百万円の増加となりました。主な要因としては、有形固定資産の減少86百万円及び敷金及び保証金の返還による減少80百万円の減少要因に対し、現金及び預金の増加11億77百万円、クレジット売上増に伴う売掛金の増加96百万円及び商品の増加86百万円の増加要因によるものであります。

負債は、215億円となり、前連結会計年度末に比べ8億63百万円の増加となりました。主な要因としては、長期借入金の減少5億円及び長期預り敷金保証金の減少42百万円の減少要因に対し、支払手形及び買掛金の増加5億51百万円、電子記録債務の増加2億43百万円、短期借入金の増加1億14百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1億30百万円及び未払法人税等の増加1億48百万円の増加要因によるものであります。

純資産は、55億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億42百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払29百万円の減少要因に対し、株式の市場価格の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加33百万円及び当第2四半期連結累計期間において四半期純利益3億38百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は20.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ11億77百万円増加し、18億27百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ4億3百万円増加し14億82百万円となりました。主な要因としては、たな卸資産の増加額89百万円、売上債権の増加額96百万円及び法人税等の支払額59百万円の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益5億50百万円、減価償却費1億95百万円、仕入債務の増加額7億94百万円及び未払消費税等の増加額1億53百万円の増加要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、25百万円（前年同四半期は1億79百万円の使用）となりました。主な要因としては、有形固定資産の取得による支出26百万円、無形固定資産の取得による支出1百万円、敷金及び保証金の差入による支出20百万円及び預り保証金の返還による支出41百万円の減少要因に対し、敷金及び保証金の回収による収入1億19百万円の増加要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ1億24百万円増加し3億30百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の純増加額1億14百万円、長期借入れによる収入11億円の増加要因に対し、長期借入金の返済による支出14億70百万円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	713,123	1,890,437
売掛金	232,956	329,540
商品	4,814,324	4,900,764
その他	590,332	569,108
貸倒引当金	△364	△791
流動資産合計	6,350,373	7,689,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,870,507	3,780,852
土地	11,772,945	11,772,945
その他(純額)	237,392	240,209
有形固定資産合計	15,880,845	15,794,006
無形固定資産	706,875	697,258
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,203,697	2,123,501
その他	688,694	732,692
貸倒引当金	△4	△2
投資その他の資産合計	2,892,387	2,856,191
固定資産合計	19,480,108	19,347,456
資産合計	25,830,481	27,036,516
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,598,747	3,149,824
電子記録債務	504,105	747,756
短期借入金	3,997,670	4,111,874
1年内返済予定の長期借入金	2,746,455	2,876,573
未払法人税等	75,764	224,425
ポイント引当金	210,200	197,220
その他	595,967	902,315
流動負債合計	10,728,909	12,209,988
固定負債		
長期借入金	8,017,903	7,517,458
退職給付引当金	734,087	747,873
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	115,977	116,847
長期預り敷金保証金	470,470	428,309
その他	541,055	451,318
固定負債合計	9,907,833	9,290,146
負債合計	20,636,742	21,500,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,529,903	1,838,593
自己株式	△232,567	△232,567
株主資本合計	5,087,335	5,396,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,477	140,054
繰延ヘッジ損益	△73	300
その他の包括利益累計額合計	106,403	140,354
純資産合計	5,193,739	5,536,380
負債純資産合計	25,830,481	27,036,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	15,537,411	15,954,210
売上原価	11,027,745	11,336,450
売上総利益	4,509,665	4,617,760
営業収入	598,127	571,391
営業総利益	5,107,793	5,189,151
販売費及び一般管理費	4,485,828	4,519,262
営業利益	621,965	669,889
営業外収益		
受取利息	424	325
受取配当金	5,289	6,221
受取保険金	7,880	5,237
その他	1,517	1,479
営業外収益合計	15,112	13,263
営業外費用		
支払利息	175,708	163,671
支払手数料	19	—
その他	737	176
営業外費用合計	176,465	163,847
経常利益	460,612	519,305
特別利益		
固定資産売却益	—	20
投資有価証券売却益	1,189	—
賃貸借契約解約益	—	16,096
受取保険金	—	20,000
特別利益合計	1,189	36,116
特別損失		
固定資産除売却損	1,568	4,771
投資有価証券評価損	6,364	126
賃貸借契約解約損	175	—
その他	—	7
特別損失合計	8,108	4,906
税金等調整前四半期純利益	453,692	550,514
法人税、住民税及び事業税	164,825	206,842
法人税等調整額	5,100	5,376
法人税等合計	169,925	212,218
少数株主損益調整前四半期純利益	283,767	338,295
四半期純利益	283,767	338,295

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	283,767	338,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,618	33,577
繰延ヘッジ損益	85	373
その他の包括利益合計	19,704	33,950
四半期包括利益	303,471	372,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,471	372,246

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	453,692	550,514
減価償却費	210,133	195,550
支払利息	175,708	163,671
固定資産除却損	1,568	4,771
たな卸資産の増減額(△は増加)	△340,303	△89,271
売上債権の増減額(△は増加)	△111,787	△96,583
仕入債務の増減額(△は減少)	900,452	794,728
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,347	153,207
その他	45,982	12,040
小計	1,351,793	1,688,629
利息及び配当金の受取額	5,714	6,546
利息の支払額	△171,744	△152,735
法人税等の支払額	△107,146	△59,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,078,616	1,482,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△187,411	△26,554
無形固定資産の取得による支出	△35,992	△1,511
敷金及び保証金の差入による支出	△29,987	△20,004
敷金及び保証金の回収による収入	113,115	119,688
預り保証金の返還による支出	△38,877	△41,399
その他	△647	△4,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,799	25,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,592,500	114,204
長期借入れによる収入	2,850,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,364,425	△1,470,327
その他	△98,943	△74,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,868	△330,427
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	692,949	1,177,313
現金及び現金同等物の期首残高	599,927	650,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,292,877	1,827,926

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	9,537,436	3,598,009	2,598,177	389,077	16,122,700	12,838	16,135,538	—	16,135,538
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	6,534	6,534	32,503	39,037	△39,037	—
計	9,537,436	3,598,009	2,598,177	395,611	16,129,234	45,341	16,174,575	△39,037	16,135,538
セグメント利益	368,295	312,151	115,064	77,679	873,190	11,115	884,305	△262,340	621,965

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△262,340千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△262,340千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	9,638,124	3,769,791	2,738,458	365,626	16,512,000	13,601	16,525,601	—	16,525,601
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	6,534	6,534	32,109	38,643	△38,643	—
計	9,638,124	3,769,791	2,738,458	372,160	16,518,534	45,711	16,564,245	△38,643	16,525,601
セグメント利益	374,763	344,194	121,576	70,010	910,544	10,211	920,756	△250,867	669,889

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△250,867千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△250,867千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。